

「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

システムパッケージリリース情報

Version 2.4.1 (testsサイト提供版)

平成17年 1月25日(二版)
平成16年10月19日(初版)

社団法人日本医師会

注意事項

<p>(1)バージョン2.4.0のリリース情報について</p> <p>バージョン2.3.1以前のシステムから当該バージョンへのアップグレードを行う場合は必ずバージョン2.4.0のリリース情報をご参照ください。 バージョン2.4.0では大幅な変更が施されています。中でもミドルウェアの変更およびユーザカスタマイズについての情報もありますのでアップグレード後のトラブルを避けるためにも事前に計画を立ててアップグレードを行ってください。</p>	
<p>(2)ユーザカスタマイズプログラムの変更について</p> <p>今回の修正でワーク診療行為テーブルを変更したことにより、処方せんプログラムをユーザによりカスタマイズを行っている場合は修正が必要になります。バージョン対応修正を行わずバージョンアップした場合は、処方せんが作成できなくなります。</p>	<p>ユーザカスタマイズの修正例は「ユーザカスタマイズ留意事項」を参照してください。</p>

パッケージファイルについて

jma-receipt_2.4.1-1+0jma1_i386.deb (無床診療所版)
jma-receipt-hosp_2.4.1-1+0jma1_i386.deb (入院版)

データベーステーブル構造の変更

(1) ワーク診療行為テーブルを変更した。

パッケージ依存関連

特になし。

再起動について

「日レセ」パッケージを更新するとアプリケーションは自動で再起動しますがサブプロセスが終了できずそのまま残る場合があります。
パッケージ更新後、再起動をしていただくときれいな状態でアプリケーションが起動できます。

テーブル構造変更の確認について

業務メニュー画面の「マスタ更新」を選択するとデータベースの構造バージョンを確認できます。

正常にアップグレード(インストール)が完了すると「構造ver(自)」及び「構造ver(ORCA)」の表示は次のようになります。

S-020401-1-20041015-1」(平成 16年 10月 15日現在)

パッケージアップグレードの前に

操作に先立って必ずバックアップをおこなってください。

バックアップの方法

kterm などから以下のコマンドを入力します。

\$ pg_dump -R orca > バックアップファイル名

マスタ更新データの提供について

特にありません。

マスタ更新について

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択しマスタ更新管理一覧画面より「更新 (F12)」を選択すると更新処理を開始します。

更新が完了すると(「状況 (F11)」を選択してください。)「レコードver(自)」及び「レコードver(ORCA)」の表示は次のようになります。

R-020200-3-20041001-2」(平成 16年 10月 15日現在)

【注意】

1) パッケージをインストール / 更新しただけでは各種マスタは更新されません。必ず業務メニュー画面より「マスタ更新」を行ってください。

2) 操作に先立ってバックアップをとることを推奨します。

バックアップの方法

kterm などから以下のコマンドを入力します。

\$ pg_dump -R orca > バックアップファイル名

パッケージアップグレードの方法について

/etc/apt/sources.list のエントリに以下の記述があるか確認をしてください。なければ追加してください。

```
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian/tests woody jma
```

アップグレードするため方法

ktermなどから以下のコマンドを入力します。(root権限)

```
# apt-get update
```

```
# apt-get dist-upgrade
```

sudoの設定がある場合は以下のコマンドでも行えます。

```
$ sudo apt-get update
```

```
$ sudo apt-get dist-upgrade
```

2.1 診療行為

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
1		<p>入院中の患者様で10/4に躯幹MRI (1回目) 1220点を算定しました。10/14にCT、MRI(躯幹) (2回目以降) 810点を入力すると警告のメッセージがでます。 警告！撮影料は1回目の手技料が算定できます」と表示されます。このメッセージは必要ないのではないのでしょうか。 2.3.1のバージョンでは10/14に躯幹MRI (1回目) を選んでもCT、MRI(躯幹) (2回目以降) に自動で変更して正しく算定されましたが今回の2.4.0ですと、10/14に躯幹MRI (1回目) を入力するとそのまま登録出来るのは不具合ではないかと思われます。</p>	<p>バージョン2.4.0において入院でCT、MRを算定した患者についてはCT、MRを算定した日の会計を日付の古いものから順番に訂正で呼び出しそのまま登録してください。それにより算定歴を正しく作成します。また同一月に2回目以降を算定している場合はその内容についても訂正で呼び出し登録してください。</p> <p>労災保険、自賠責保険で算定した場合はこの処置をする必要はありません。</p>	H16.10.15
2		<p>訂正を行う場合に入退院登録で設定している診療科以外の診療科の内容が展開ができなくなっていました。</p>		H16.10.15
3		<p>老人年齢に達していない患者が老人保健を受給していた場合、複数保険入力で同時に入力する保険が自費であった場合、自費で算定する点数が一般または老人点数のどちらの点数を算定するかを年齢から判別できないために表示するメッセージが不適切でありましたので修正しました。</p> <p>訂正前 主保険と老人 一般の判定が複数保険入力ではできません。</p> <p>訂正後 主保険と老人 一般の判定が違います。複数保険入力ではできません。</p>		H16.10.15

2.1 診療行為 (続き)

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
4		<p>複数科を同時に算定した会計内容を訂正で呼び出し削除 (クリア) を行なった場合、最終来院日が元の内容に変更されない不具合がありましたので修正しました。</p>	<p>すでにこの操作により算定日が誤っている場合は次の操作で正しい内容に訂正してください。</p> <p>削除をした受診履歴が複数科を算定していて、最終受診の履歴である場合に、最終来院日と初診算定日が削除後の最終来院日と初診算定日に変更されません。</p> <p>この場合、削除した複数診療科で算定した診療科を主科として、最終来院日以降の日に何か点数を算定して登録します。</p> <p>その後、訂正で削除 (クリア) すると正しい最終来院日と初診算定日に更新されます。</p> <p>なお、削除した複数科すべての科を主科ととして行なう必要があります。</p> <p>正しい内容に訂正しなかった場合、診療行為の最終来院日と初診算定日が間違っただまとなります。</p> <p>特に、削除した内容に初診料があった場合、初診算定日が誤りですので初診料を自動発生しないようになります。</p> <p>再診料の場合は、最終来院日のみが違いますので、再度、診療行為を登録していただくと正しい最終受診日に変更されます。</p>	H16.10.15

21 診療行為 (続き)

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考																				
5		<p>システム管理 1038診療行為情報の入金の手扱いは4伝票の古い未収順に入金に設定 複数回数の未収があり診療行為画面の請求確認にて前回までの未収金を入金、今回は未収として処理した場合</p> <p>Ver. 2.3.1では収納画面では前回分までの未収が全て入金済みとなり今回は請求額 = 未収額となります。 Ver. 2.4.0の収納画面では前回分までの未収は全て入金済みとなりますが今回は請求額は今回請求額ですが未収額が今回請求額 - 今回入金額となってしまいます。</p> <p>収納一覧にも誤差が生じます。</p> <table border="1" data-bbox="360 683 1064 813"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>今回請求額</th> <th>今回入金額</th> <th>入金日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/ 1</td> <td>1000</td> <td>0</td> <td>10/ 1</td> </tr> <tr> <td>9/ 10</td> <td>3000</td> <td>0</td> <td>10/ 1</td> </tr> <tr> <td>9/ 20</td> <td>5000</td> <td>0</td> <td>10/ 1</td> </tr> <tr> <td>10/ 1</td> <td>2000</td> <td>9000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>とした場合 10月1日の収納が 今回請求額 2000 未収金 - 7000 収納一覧表 (外来) 也 請求金額 2000 領収金額 18000 未収額 - 7000 となります。 Ver. 2.3.1では 請求金額 2000 領収金額 9000 未収金額 2000 となっていました。 何か設定が変わりましたでしょうか。</p>	月日	今回請求額	今回入金額	入金日	9/ 1	1000	0	10/ 1	9/ 10	3000	0	10/ 1	9/ 20	5000	0	10/ 1	10/ 1	2000	9000		<p>(複数科まとめの対応による不具合) 入金の手扱いが、4, 5の場合</p> <p>1. 充当後の請求額が、0 (ゼロ) になった場合 2. 登録を押下した時の表示画面が入金額の入力できない条件だった場合 (保険の合計)</p> <p>この2つの場合に、今回登録分の入金額の充当を行っていませんでした。</p>	<p>H16.10.20 (予定)</p>
月日	今回請求額	今回入金額	入金日																					
9/ 1	1000	0	10/ 1																					
9/ 10	3000	0	10/ 1																					
9/ 20	5000	0	10/ 1																					
10/ 1	2000	9000																						

4.2 明細書

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1		<p>複数科で外来管理加算を算定している医療機関において、レセプト電算データの外来管理加算について正しい回数で記録できない不具合がありました(紙レセは問題無し)。</p> <p>例) 1日に内科で外来管理加算を算定 2日に整形外科で外来管理加算を算定</p> <p>上記の場合、レセ電データに外来管理加算の回数が2回と記録されずに1回と記録されていました。</p>		H16.10.15

その他

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1		1つの剤に用法を複数入力した場合薬剤情報 (お薬情報)に最後に入力した用法のみしか印字されなかったので修正しました。		H16.10.15

2.1 診療行為

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
1	20041012-010	<p>バージョンを2.4.0に上げ、Claimを使って複数診療科のあるXMLを送信しました。 今まで通り、診療行為入力ではそれぞれの診療科に分かれて表示されます。 今までなら、請求確認欄で複数診療科ありで、他の診療科に切り替え、もう一度診療行為入力で確認して、最後に請求確認欄で登録を行って、うまくいってましたが、バージョンアップ後は、診療行為入力では若い診療科コードの診療行為が表示されるのみです。また、請求確認欄に遷移後、他の診療科に切り替えることもできません。 どのように対処すればいいですか？</p>	<p>外来で中途終了のデータの内容を診療行為内容に追加できるようにしました。 中途終了一覧画面で展開する内容を選択し「追加」(F10キー)を押すと同一会計画面に別診療科分として追加できます。</p> <p>例)内科と皮膚科を受診され各科毎に診療行為を入力し中途終了とした場合 (1) 中途終了一覧の中から内科のデータ呼び出す(診察料は自動発生する) (2) 診療行為入力画面から「中途表示」ボタンを押し中途終了一覧画面を表示する (3) 中途終了一覧画面から皮膚科のデータを選択し「追加」ボタンを押す (4) 診療行為入力画面に他科分として皮膚科の診療内容が展開される(皮膚科の診察料は削除される) (5) 内容を確認して「登録」を行う (6) 会計確認画面から請求書兼領収書を発行すると1枚にまとめて発行ができる</p> <p>また、中途終了データ(ワーク診療行為)に医師コードを追加しましたので、中途終了時に選択していたドクターを展開時のドクターとするようにしました。</p>	

ユーザカスタマイズプログラム留意事項

Ver 2.4.1以降対応

	修正内容
処方せん	<p>ワーク診療行為テーブルが変更となったことによる対応について</p> <p>ワーク診療行為テーブルに医師コード(DRCD)を追加したことにより処方せんプログラムの次の箇所を修正してください。</p> <p>対象となるプログラムについて バージョン2.4.0の処方せんプログラムを参考にカスタマイズされたプログラムが対象になります。</p> <p>標準版のプログラムでの修正例</p> <p>プログラム名 ORCHCM19.CBL</p> <p style="margin-left: 20px;">*</p> <p style="margin-left: 20px;">* 診療行為マスタワーク</p> <p style="margin-left: 40px;">01 LNK-WKSRYACT-AREA.</p> <p style="margin-left: 40px;">02 LNK-WKSRYACT-REC OCCURS 100.</p> <p style="margin-left: 40px;">COPY "CPWKSRYACT.INC" REPLACING</p> <p style="margin-left: 60px;">//WKSRY-// BY //LNK-WKSRY-//.</p> <p style="margin-left: 40px;">****03 LNK-WKSRY-DRCD PIC X(05).</p> <p style="margin-left: 40px;">03 LNK-WKSRY-SYORI PIC X(01).</p> <p style="margin-left: 20px;">*</p> <p>上記のように、</p> <p style="margin-left: 40px;">03 LNK-WKSRY-DRCD PIC X(05).</p> <p>の行を削除して下さい。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">この行を削除</div>

ユーザカスタマイズプログラム留意事項（二版）

Ver 2.4.1以降対応

	修 正 内 容
請求書兼 領収書	<p>請求書兼領収書プログラムの修正について</p> <p>標準提供プログラム ORCHC03.CBL 又は ORCHC03V02.CBL を次のような内容で修正しましたので参考にしてください。</p> <p>1 . データ部に次の変数を追加しました。</p> <pre> 03 WRK-HKNTEN-KEI PIC 9(07)V99. 03 WRK-NYUKIN PIC S9(07). * + 03 WRK-NYUKIN-TOTAL PIC S9(07). + 03 WRK-ZENMISYU PIC S9(07). + * 03 WRK-SRYKA-MEI PIC X(30). * </pre> <p>2 . 201-ONLY-SYUNOU-SEC 内の次の箇所に 1 行追加しました。</p> <pre> MOVE ORCHC03-NYUKIN TO WRK-NYUKIN + MOVE ORCHC03-ZENMISYU TO WRK-MISYUMONEY * * 帳票印刷開始処理 PERFORM 400-SYOKI-PRINT-SEC </pre> <p>3 . 帳票編集処理 300-HC03-HEN-SEC 内の次の行をコメントとしました。</p> <pre> MOVE WRK-Z72-G TO HC03-KONNYUKIN * 前回未収額計算 *!!! PERFORM 3101-MISYU-HEN-SEC - MOVE ORCHC03-ZENMISYU TO WRK-MISYUMONEY + *****MOVE ORCHC03-ZENMISYU TO WRK-MISYUMONEY MOVE WRK-MISYUMONEY TO WRK-Z72 PERFORM 800-HENKAN-SEC MOVE WRK-Z72-G TO HC03-ZENMISYU </pre>

ユーザカスタマイズプログラム留意事項（二版）

Ver 2.4.1以降対応

	修正内容
	<p>4 . 202-KAKHOU-SYUNOU-SEC 内に次の行（2箇所）を追加しました。</p> <p>1箇所目</p> <pre> SPA-AREA ORCHC03AREA ORCHC03SUBAREA + * 入金合計 + MOVE ZERO TO WRK-NYUKIN-TOTAL + PERFORM VARYING IDX-SYU FROM 1 BY 1 + UNTIL IDX-SYU > ORCHC03SUB-MAX + ADD ORCHC03SUB-NYUKIN-TOTAL (IDX-SYU) + TO WRK-NYUKIN-TOTAL + + END-PERFORM + * 入金合計から前回未収額の入金額を求める + IF ORCHC03-NYUKIN > WRK-NYUKIN-TOTAL + COMPUTE WRK-ZENMISYU = ORCHC03-NYUKIN + - WRK-NYUKIN-TOTAL + + ELSE + MOVE ZERO TO WRK-ZENMISYU + END-IF + + * + PERFORM VARYING IDX-SYU FROM 1 BY 1 + UNTIL IDX-SYU > ORCHC03SUB-MAX 2箇所目 TO WRK-SKYMONEY ORCHC03SUB-NYUKIN-TOTAL (IDX-SYU) TO WRK-NYUKIN + + * + * 1枚目に前回未収額を表示する + IF IDX-SYU = 1 </pre>

ユーザカスタマイズプログラム留意事項（二版）

Ver 2.4.1以降対応

	修正内容
+	MOVE ORCHC03-ZENMISYU TO WRK-MISYUMONEY
+	COMPUTE WRK-NYUKIN = WRK-NYUKIN
+	+ WRK-ZENMISYU
+	ELSE
+	MOVE ZERO TO WRK-MISYUMONEY
+	END-IF
*	*
*	* 帳票印刷開始処理
	PERFORM 400-SYOKI-PRINT-SEC